

答弁書第七十三号

内閣参甲第七九号

昭和二十四年四月二十八日

内閣総理大臣 吉田 茂

参議院議長 松平恒雄殿

参議院議員北條秀一君提出日本人の移民についての質問に対する別紙答弁書を送付する。

參議院議員北條秀一君提出日本人の移民についての質問に対する答弁書

將來日本人が海外に出得る時が必ず來ることを期待して居り、我が技術者が海外において需要される時期も到來するだろうと思ひますが、移民問題は受入れる國の國內問題であり、占領下にある我國としては本問題を取上げる時期に達してはいないことは御承知の通りです。

我國としては只管國內諸制度の民主化の徹底を期し國際信用を高めることに万全の努力を致すべきで、日本人が海外において眞に平和的な國民として受入れられるように努めることこそ最も肝要であると考え

る。